

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市泥亀地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

担当地域は、金沢区の中心に位置する圏域で、主要駅である金沢文庫駅から南東に平潟湾に面した市街地と野島を含む金沢地区、海の公園に面し、称名寺を含む金沢南部地区、同駅を中心とした京浜急行と国道16号線に沿った形で広がる金沢中部地区の3地区です。

金沢八景のうち四景を有する景勝地で、いまでも平潟湾を行き来する釣り船や、野島では自然海浜を見ることができ、市内でも少ない漁港がある一方で金沢文庫や称名寺などを有する歴史的にも由緒ある地区です。

そして古くからの戸建住宅に大型マンションや団地等が混在しています。また、緩やかな人口減少があり、15歳から64歳の方々の転出がみられています。高齢化率などは地区ごとに違いますが、65歳以上の高齢者がいる世帯が増え、特に高齢者世帯の増加がみられ、今後は75歳以上の高齢者の増加が続くと考えられています。

課題としては、現在もお祭りや行事が活発に行われていますが、さらに世代を超えた住民同士のつながりや顔の見える関係づくりが求められています。

また、地域ケアプラザから遠方になる地域では講座参加や相談に来にくいといった状況があります。そのような地区や民生委員の不在の地区では孤立死や虚弱者の重症化ということにもつながりやすいと考えられます。

そして地域での活動の今後の継続や発展のために担い手となる人材への支援が考えられます。

さらに第3期地域福祉保健計画（区計画・地区別計画）の推進に向け、地域支援チームとして地域ケアプラザとしても後方支援をおこないました。潜在化した個別のニーズの発見の機会を増やし、地域のニーズを把握し、地域の特性に合わせた地域福祉活動を行ってきました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

当地域ケアプラザは「いきいきセンター金沢」内に設置され、金沢区の様々な方が利用される複合施設です。

館内の各施設で月に一度連絡会を開催し、連携して施設設備（空調・消防・機械警備・冷暖房機器等）の保守点検を行い、「管理標準」の項目に沿って定期点検を実施いたしました。築 18 年となり、年数経過による故障も予測されます。日常の管理を通して不具合の早期発見に努め、適切に迅速に対応しました。

衛生管理や感染症予防に万全を期し、ご利用者に安心して、また安全に利用していただけるよう努めました。

また、職員が率先してボランティアとともに、毎週火曜日に『さわやか清掃』を行い、清掃・草取りで環境保全と緑化を実施しました。

イ 効率的な運営への取組について

指定管理の事業が円滑に運用されるように、各担当が連携をとりながら各事業を推進してまいりました。いきいきセンター金沢の建物管理、保守、清掃業者等の委託業者の選定にあたっては電子入札等を実施し、経費削減を図りました。法人のスケールメリットを活用し、他の施設と合同で車両リースの一括入札や消耗品の共同購入などを行い、経費節減を図りました。

地域ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関して、法人本部と業務や役割の分担を図りながら連携して事務の効率化に努めました。また、横浜 3 R 夢運動を実施し、環境への取組に力を入れ、節電・節水・資源の有効活用を励行しました。

ウ 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しております。地域ケアプラザ内には、「ご意見箱」を置き、窓口以外でもお受けできるようにしました。

また、法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員がおり、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取組を図りました。

苦情に対しては真摯に受け止め、不快と感じられたことに対しては即日対応し、原因・事実関係を明らかにし、必要に応じ体制を改善するなど再発防止に努めました。必要に応じて市や区に要望や苦情について報告しました。法人内の他施設の苦情も月 1 回サービス向上委員会を設置し、原因・事実関係を検討し、再発防止に取組ました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

当地域ケアプラザでは地震、火災等の災害時の備えとして、防災対応マニュアル、消防計画・避難確保計画等を策定しています。年2回、避難訓練、心肺蘇生法・応急訓練、津波避難訓練等を通して、緊急時に地域ケアプラザ職員がマニュアルに則った対応がとれるよう訓練し災害時に備えました。当地域ケアプラザの利用者で安否確認が必要な方には、区と連携して訪問して安否を確認し支援しました。

地域ケアプラザは横浜市より特別避難場所としての指定を受けています。災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な在宅要援護者を、区災害対策本部長の要請によって受け入れます。金沢区災害ボランティアネットワーク・区内の施設とも連携をとり、災害時に適切に対応できるよう月1回の定例会や講座・訓練などを行いました。

防犯に関しては、警備業者と委託を結び機械警備により火災・盗難等の防止に努めました。

オ 事故防止への取組について

介護サービスの提供中に起きた事故やヒヤリハットに対しては必ず報告書を作成し、原因の究明・再発予防に取り組みました。事故等の報告を随時朝夕のミーティングの場において行い、職場内で注意を喚起しながら事故の未然の防止に努めました。

また、1年分の事故・ヒヤリハット報告を分類・分析し、再発防止策を会議で検討、そして事例に基づいた実践的な対応を学び、再発防止に努めました。

再発防止の意識を高められるよう、当地域ケアプラザの事故・ヒヤリハットの事例だけでなく、法人内の他の事業所での事故の事例と対応も法人として把握し、報告書を回覧しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人では個人情報保護規程を定め、それぞれの地域ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティ研修を担当職員が受講し、職場でも研修を実施しました。

全職員に対して年1回「個人情報の取り扱いについて」の研修や実際に個人情報取り扱いチェックを実施し、自己を振り返り、緊張感をもって個人情報を取り扱うように周知しました。

実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、個人ファイル、電子媒体などは施錠できるロッカーなどで保管することとし、止むを得ず携帯する場合には、管理職の許可を得て、最小限の情報のみを携帯するようにしております。

個人情報の漏洩防止のため、連絡帳等の返却・郵便物の発送・FAX送信などの際には、複数の者でダブルチェックをし、広報等に個人が特定できる記事や写真等を載せる場合は、書面と口頭で了解を得るようにしました。

キ 情報公開への取組について

当地域ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程に則り、積極的に情報を公開することに努めております。公開情報の内容は、法人の概要・サービス内容・財務状況・中期経営計画・事業計画書・事業報告書・地域ケアプラザ施設運営情報等です。

ホームページの公開やパンフレット・チラシの配布などを活用して、法人・地域ケアプラザを知っていただき、各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

ク 人権啓発への取組について

法人では、倫理綱領を定め、人権の大切さ・自己決定・自立支援へ向けての取組について職員全体に周知や法人本部で人権研修が企画・実施し、職員が受講した後、事業所においても研修を実施しました。

問題等があった場合は、事業所内で改善に向けた取組を行うとともに、事業所の状況を法人でも共有し必要な対策をとっております。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ゴミの減量を推進し、省エネルギーに努めました。節電・節水・資源ごみの分別・資源の有効利用を心がけ、館内利用者にも協力を求め、ゴミの持ち帰りをお願いしました。

節電においては、不要な照明の消灯・使用していないパソコンの電源を落とし、日頃から省エネルギー対策の意識が定着するように啓発しました。これらは当地域ケアプラザが設置されている複合館いきいきセンター全体での取組でもあります。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

- 保健師（看護師） 1名 社会福祉士 2名 主任ケアマネジャー 1名
介護予防プランナー（介護支援専門員） 5名
- ア 社会福祉士、主任ケアマネジャー、介護予防プランナーと共に保健師が中心となって、介護予防支援業務に取り組みました。
- イ 介護予防支援業務の一部を居宅介護支援事業者に委託しました。

《目標》

- ア 高齢者が元気に暮らし続けていくことができるよう、地域の特性を生かした介護予防事業に取り組みました。
- イ 要支援と認定された方に対し、適正な介護予防ケアプランを作成しました。要介護から要支援へ変更となった方に対し、利用者の選択権を十分に尊重した上で、引き続き居宅介護支援事業所へ継続支援の委託依頼をしました。
- ウ 地域包括支援センターは、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント（介護予防ケアプランの作成等）の全体を所管するため、公正・中立の立場を確保しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

ご利用者の実費負担はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア 介護保険申請中の方の暫定サービス利用に対し、主任ケアマネジャーや社会福祉士などと連携をとりながら、居宅介護支援事業者及びサービス事業者との調整を行い、必要性に応じた早急な対応を行いました。
- イ 介護保険外のインフォーマルサービスを、地域交流部門や地域の方々と連携し合い、紹介や調整を行いました。
- ウ 介護予防事業「元気づくりステーション」等の取組や地域支援に対し、福祉保健センターと連携を図りました。

《利用者実績（介護予防支援・介護予防マネジメント合計）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
256	254	249	250	255	254
10月	11月	12月	1月	2月	3月
260	261	262	263	259	260

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者：常勤兼務 1名
 主任介護支援専門員 常勤兼務 1名
 介護支援専門員：常勤 2名 非常勤専任 6名

《目標》

- ア 適正な保険医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業所から、総合かつ効率的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所等との連絡調整を行いました。
- イ 事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- ウ 居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標とし、取り組みました。

《実費負担》

- ア ご利用者の実費負担はありませんでした。
- イ 通常の事業実施地域をこえる地域に訪問、出張する必要がある場合には、ご利用者又はご家族等に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨を文書に署名（記名、押印）をいただきますが、実費負担の実績はありませんでした。

《その他》

- ア 介護保険内のサービスだけでなく、地域と連携をとりインフォーマルなサービスも調整しました。
- イ 地域包括支援センターと連携をとり、緊急時や困難時にも対応しました。
- ウ ご利用者が入院されても、在宅復帰できるように医療ソーシャルワーカーと連携をとり、相談を行いました。
- エ ご利用者の在宅生活が困難になったときには、ご利用者やご家族の意向を尊重し各種施設の紹介をし、入所手続きの相談を行いました。
- オ 特定事業所（Ⅲ）の指定を受け、24時間対応できる体制を整え、ケアマネジメントの質の向上に向けて個別に研修計画を策定し、研鑽しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
94	96	93	99	99	95
10月	11月	12月	1月	2月	3月
97	99	100	96	101	103

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなどのサービス）
- 個別機能訓練、口腔機能訓練、レクリエーション
- 健康状態の観察、入浴、食事、送迎
- 生活指導・相談援助
- 広報誌の発行

《実費負担》

● 1割負担分

（要介護1）	704円
（要介護2）	831円
（要介護3）	963円
（要介護4）	1,095円
（要介護5）	1,227円
口腔機能向上加算	161円
個別機能訓練加算Ⅱ	60円
サービス提供体制強化加算Ⅰ口	13円
入浴介助（入浴された方のみ）	54円

● 食費負担 750円（おやつ代含む）

- 利用者の希望による手芸・工作などのクラブ活動においては材料費等の実費

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：30 ～ 16：30

《職員体制》

管理者：常勤兼務1名
生活相談員：常勤兼務5名
看護職員：非常勤兼務5名
介護職員：常勤兼務5名 非常勤兼務25名
機能訓練指導員：非常勤兼務5名
調理員：非常勤兼務6名
送迎運転手：非常勤兼務8名

《目標》

「みんな笑顔！来てよかったデイサービス」を目標に

- お客様の変化を見逃さないよう、ひとつひとつを大切にします
- お客様おひとりおひとりの言葉を大切にし、耳を傾けます
- お客様に信頼していただけるようチームワークに努めます
- 相談しやすい、話しやすい環境づくりに努めます

お客様の意思を尊重し、心身の状況や環境などに応じて、お客様が住み慣れた地域・家庭でいつまでも自立した日常生活を営むことができるように取り組みました。特に生活機能が低下しないように、ご自分でできることはできる限りご自分で、できないことは少しでも出来るように、とする自立支援的かわりに重点を置きました。増加する認知症の方の個別の状態に合わせて対応し、落ち着いたお気持ちでデイサービスをご利用いただけるようにしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 自立支援的な取組により、生活機能の維持・向上と生活意欲の向上を目指して自分の目標を持っていただき取り組みました。また、食事・排泄・入浴などの日常生活動作を通じて、ご自分でできるところはご自分で行っていただき、その方に応じた機能が向上するように取り組みました。
- 集団的にレクリエーションだけでなく、個々の希望に合わせて自分で選択しながら楽しんでいただくコーナーを用意し、手芸・制作・ゲーム・囲碁・将棋・頭の体操・創作活動などを行い、お客様同士の交流を深め、心身の活性化に努めました。
- 季節に合わせたお食事を提供しました。お正月・敬老週間には松花堂弁当など器や献立も工夫しました。また、お客様からの要望や希望をお聞きする機会を設け、食事が楽しく充実するよう取り組みました。
- 入浴を楽しんでいただけるよう、毎月変わり湯を提供しました。
- 家族会を開催し、日頃から介護に携わるお客様家族同士や生活相談員等の意見交換の場を設けました。在宅と通所介護の連携を高まるよう、介護されるご家族同士の情報交換や、ご利用における疑問等の解消に努め、在宅と通所介護の連携を行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
648	678	687	680	717	677
10月	11月	12月	1月	2月	3月
717	675	614	611	613	685

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなどのサービス）
- 運動器機能向上訓練、口腔機能向上訓練、生活機能向上グループ活動
- レクリエーション（集団・個別）戸外機能訓練
- 健康状態の観察、入浴、食事、送迎
- 生活指導・相談援助
- 広報誌の発行

《実費負担》

● 1割負担分

（要支援1）	1, 766円	サービス提供体制強化加算I口	52円
（要支援2）	3, 621円	サービス提供体制強化加算I口	103円
運動器機能向上加算		242円	
口腔機能向上加算		161円	

運動機能

- 食費負担 750円（おやつを含む）
- 利用者の希望による手芸・工作などのクラブ活動においては材料費等の実費

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：30 ～ 16：30

《職員体制》

- 管理者：常勤兼務1名
- 生活相談員：常勤兼務5名
- 看護職員：非常勤兼務5名
- 介護職員：常勤兼務5名 非常勤兼務25名
- 機能訓練指導員：非常勤兼務4名
- 調理員：非常勤兼務6名
- 送迎運転手：非常勤兼務8名

《目標》

「みんな笑顔！来てよかったデイサービス」を目標に

- お客様の変化を見逃さないよう、ひとつひとつを大切にします
- お客様おひとりおひとりの言葉を大切にし、耳を傾けます
- お客様に信頼していただけるようチームワークに努めます
- 相談しやすい、話しやすい環境づくりに努めます

お客様の意思を尊重し、心身の状況や環境などに応じて、お客様が住み慣れた地域・家庭でいつまでも自立した日常生活を営むことができるよう取り組みました。特に生活機能が低下しないように、ご自分でできることはできる限りご自分で、できないことは少しでも出来るように、とする自立支援的かわりに重点を置きました。増加する認知症の方の個別の状態に合わせて対応し、落ち着いたお気持ちでデイサービスをご利用いただけるようにしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 運動器機能向上訓練加算を申請し、運動・動作能力の維持・向上を目的に、インストラクターの指導の下、いつまでも『住み慣れた地域・家庭で自立した生活を送れる』ようにストレッチ（柔軟）バランス（重心移動）コンディショニング（姿勢矯正）レジスタンス（筋力向上）などの各種トレーニングや日常生活における動作訓練を行いました。また、機能訓練の一環として心身の活性化を目的に、戸外機能訓練を行いました。
- お客様に対して、お客様の心身の状況や希望に基づき、集団的にレクリエーションを行い、創作活動などを通して、お客様同士の交流を深め、心身の活性化に努めました。
- 集団的なレクリエーションだけでなく、個々の希望に合わせて自分で選択しながら楽しんでいただくコーナーを用意し、手芸・制作・ゲーム・囲碁・将棋・頭の体操・創作活動などを行い、お客様同士の交流を深め、心身の活性化に努めました。
- 自立支援的な取組により、生活機能の維持・向上と生活意欲の向上を目指し、食事・排泄・入浴などの日常生活動作を通じて、ご自分でできるところではご自分で行っていただき、その方に応じた機能が向上するように目標を設定し、達成に向けて支援しました。
- 入浴を楽しんでいただけるよう、毎月変わり湯を提供しました。
- 日常生活に必要な能力の維持・向上を目指し、個別計画を作成し、充実した生活に繋がるよう支援しました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
26	25	24	27	29	27
10月	11月	12月	1月	2月	3月
28	27	27	25	24	21

● 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなどのサービス）
- 個別機能訓練、口腔機能訓練、レクリエーション
- 健康状態の観察、入浴、食事、送迎
- 生活指導・相談援助
- 広報誌の発行

《実費負担》

● 一割負担

（要介護1）	1,072円
（要介護2）	1,188円
（要介護3）	1,305円
（要介護4）	1,422円
（要介護5）	1,539円

個別機能訓練加算 30円

サービス提供体制強化加算Ⅰイ 20円

入浴介助（入浴された方のみ） 55円

- 食費負担 750円（おやつ代含む）

- 利用者の希望による手芸・工作などのクラブ活動においては材料費等の実費

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：30 ～ 16：30

《職員体制》

管理者：常勤兼務1名

生活相談員：常勤兼務5

名

看護職員：非常勤兼務4名

介護職員：常勤兼務5名 非常勤兼務25名

機能訓練指導員：非常勤兼務5名

調理員：非常勤兼務6名

送迎運転手：非常勤兼務8名

《目標》

「みんな笑顔！来てよかったデイサービス」を目標に

- お客様の変化を見逃さないよう、ひとつひとつを大切にします
- お客様おひとりおひとりの言葉を大切にし、耳を傾けます
- お客様に信頼していただけるようチームワークに努めます
- 相談しやすい、話しやすい環境づくりに努めます

お客様の意思を尊重し、心身の状況や環境などに応じて、お客様が住み慣れた地域・家庭でいつまでも安心して日常生活を営むことができるように取り組みました。個別の状態に合わせ、認知機能ができるだけ保たれ、維持されるように、お一人おひとりの表情を見てお声をかけさせていただき、楽しい気持ちで一日を過ごしていただくことに重点を置き関わらせていただきました。

食事・排泄・入浴が提供されることで生活のリズムが整い、介護するご家族の気持ちを共有し、介護負担が軽減するよう取り組みました。

《その他》

- お客様のお気持ちを尊重し、落ち着いたお気持ちで過ごしていただけるよう関わらせていただき、出来る限り、お客様と介護者の意思疎通が図れるようゆったりと会話を持ち、あたたかい気持ちになれることを目指しました。
- 個別機能訓練は、個々の能力とご希望に応じ、それぞれの状態に応じた体の動きができるよう取り組みました。運動能力の高い方には、競技性の高い運動を取り入れ、身体を動かすことによる爽快感とゲーム性による楽しみも味わっていただけるよう工夫しました。
- 創作活動やレクリエーションは、それぞれの方が持っている能力を活かし、達成感や楽しさを感じられるような関わりを行い、個人のみではなく、他の方と協力して行えることも工夫しました。
- 入浴を楽しんでいただけるよう、毎月変わり湯を提供しました。
- 日常生活に必要な能力の維持・向上を目指し、個別計画を作成し、充実した生活に繋がるよう支援しました。
- 人権を尊重し、自尊心を保ち続けるケアを常に心がけました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
162	156	163	157	161	168
10月	11月	12月	1月	2月	3月
170	178	160	146	156	151

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

高齢をはじめ、子ども・障がい分野も含めた総合的な相談窓口として、電話・来所または訪問でのご相談をお受けし、適切な窓口をご紹介しますなど、地域の気軽な相談窓口を目指し、情報提供及び支援を行いました。必要に応じ、区役所や関係機関とも連携しながら対応しました。窓口には、ご相談に活用できるよう、各種資料を整備し、適切な情報提供を行いました。

また、直接のご相談以外にも、地域ケアプラザの事業や地域での出前講座や会合等への参加を通して広報・啓発活動を行い、相談受付・情報提供の機会を設け、ニーズの発掘に努めました。各事業を通して、関係機関との連携を深めながら、対応しました。

相談に対応するため、職員は研修参加や情報収集を行い、新しい知識の集積に努めました。地域の相談内容を把握し、課題に即した事業展開を行いました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携（生活支援体制整備事業も含む）

地域交流担当と地域包括支援センター担当、生活支援コーディネーターとで協働で多くの事業を実施しました。ともに関わることで課題を共有し、個別支援やさらなる事業の展開を進めました。

また、ともに地域に出向き、地域状況の把握に努めました。地域の状況を職種の異なる立場からとらえることで必要とされる地域支援に取り組みました。

今年度より、生活支援コーディネーター他増員職員を加え、所内での朝礼や定期的な5職種会議、職員会議で情報の共有や意見交換を密に行い、より一層の連携に努めました。事業の計画・報告等は書面にて回覧し、常時閲覧できるようにしました。

3 職員体制・育成

地域包括支援センター、地域活動交流、通所介護、介護予防支援事業、居宅介護支援事業など、それぞれの専門職に必要な資格要件を満たした職員を、人員配置基準に従って適正に配置しました。年度末には常勤職員を全て正規職員とし、法人単位で育成プログラムを作成し、職員の努力と熱意に応える体制をとりました。また、通所介護事業ではサービスの質の向上を図るために、法定人員配置基準を上回る人員を配置しました。

それぞれの専門分野に限らず、総合的で多様な問い合わせなどにも対応できるように、各職種の連携を強化し、職員の育成に努めました。

職員としての階層的な育成のため、階層別研修も行い、新人研修、中堅リーダー研修、管理職研修等も実施しました。法人では計画的に中堅職員等に講師を経験させるなど、職員のレベルアップに繋げました。

4 地域福祉のネットワーク構築

地区社会福祉協議会、町内会、民生委員児童委員協議会、老人会、サロンなど地域の関連団体の会合や事業に参加して、情報交換を行い、顔の見える関係の構築と連携強化に努めました。

地域の関連団体、関係機関、ボランティアなどを構成員とした地域の課題や問題点を話し合う「地域支えあい連絡会」から、本年度より「つながりの輪」を基盤に構成員を増加するなど、さらに地域福祉の推進を目指しました。また構成員だけでなく広く民生委員・児童委員、ケアマネジャー、関係機関を含めて公開セミナーとして共に研修する機会を設け、地域力の向上やネットワークの拡充を図りました。

子育て支援関係者や当事者とのネットワーク構築のために、「いきいき子育て連絡会」を区役所と連携しながら開催しました。

地域の関係団体（地区社会福祉協議会、町内会、老人会及びサロンなど）に出張し、講演会・説明会などを開催するほか、啓発活動・ボランティアの派遣などにより地域の方との信頼関係を構築しました。また、「サロン支援者交流会」を開催し、支援者同士の交流、情報交換の場を設け連携を図りました。

民生委員児童委員協議会、地域の関連団体（子育て支援、まちづくり、災害、障がい者支援団体）の定期的な会合に参加し、積極的な情報交換を行いました。

5 区行政との協働

区役所、区社会福祉協議会とともに、地域支援チームとして地域福祉保健計画地区別計画の推進のために地域の取組を支援しました。

区域の地域福祉保健計画の推進にも添いますが、地域に出向いて、介護予防や認知症等の啓発、地域ケアプラザ事業の周知に努めるとともに、地域と連携し事業の実施や関係団体の活動に対して必要な支援を行いました。

区こども家庭支援課と共催で「怒鳴らない子育て講座」を開催、金沢南部地区子育てしやすい地域づくり協議会 Sea Angel との3者で、寺前町内会館にて「3歳からの子育て講座」を実施しました。

区民活動センターとの協働で「コーヒーde ボランティア講座」を開催、地域での仲間作りや人材育成を目指し、講座終了後は自主グループとしてボランティアにて活動の場を広げています。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域での様々な団体等の活動や会合に積極的に参加し、福祉保健活動等の情報収集、実態把握に努めるとともに情報提供を行いました。出前講座や会合など機会のあるごとに福祉、保健等の情報提供、地域ケアプラザの機能や事業等の周知を行いました。

広報紙「すこやかでいき」の年4回発行、ホームページ、区の広報、タウンニュース、ケーブルテレビ等を随時活用して福祉保健の情報発信の他、自主事業のチラシなどで積極的にPR活動をしました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

地域ケアプラザは、福祉保健活動団体が快適かつ安全で、効率的で公平な施設利用ができるよう金沢区福祉活動拠点と協働で活動の場の提供に取り組みました。ケアプラザ施設利用マニュアルの改定に伴い、利用方法の変更点等について金沢区社会福祉協議会とともに臨時利用調整会議を開催し、周知を図りました。

地域ケアプラザの広報紙や地域のさまざまな会合等を通して貸館事業について周知しています。

3 自主企画事業

地域の状況等から、目的に合った子育て支援、介護予防、地域交流等さまざまな事業を実施しています。地域に出向き、子育て支援事業を地域と共催で実施しました。

事業実施にあたり、目的や期待する効果などを明確にし、事業実施後にはアンケート等で参加者意見や課題を明確にし、評価と振り返りを行い、事業の継続や自主化に向けた支援を行いました。

事業参加者を他の事業と結び付け、ボランティア活動の場の提供や交流を広げました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

自主事業から発展したグループがボランティアとして活躍できる場を設け、ボランティア活動団体には活動の継続を支援してきました。

貸室登録団体等にもボランティア活動の場の紹介や提供を行い、デイサービスでの活動や子育て支援事業への協力を得ました。

食事サービスボランティアグループを引き続きサポートし、さらに自主的な活動を行うことができるよう支援しました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

地域の高齢者等からの様々なご相談への対応・支援を行いました。ご本人やご家族からだけでなく、区役所、民生委員・児童委員、病院、薬局等からのご紹介・ご相談に、連携して対応を行いました。また、担当地域以外の方のご相談にも、お住まいの地域の窓口をご紹介する等の対応を行いました。

- ア 年々多様化しているご相談内容に対し、地域包括支援センター3職種で連携し、専門性を活かした対応を行いました。
- イ ご相談の内容に応じ、適切な機関、フォーマル・インフォーマルサービス等のご紹介や、調整を行い、丁寧且つ迅速な支援を行いました。
- ウ 困難事例においては、必要に応じ区役所との連携を密に取り、それぞれの役割分担を確認しながら継続的な支援を行いました。
- エ 生活体制整備事業を踏まえ、包括的な相談・支援に努めました。

地域包括支援ネットワークの構築

地域に暮らす高齢者等が安心して生活出来るよう、区役所をはじめとする関係機関、地域の様々な社会資源が有機的に関わり連携していけるよう情報共有の機会を設け、3職種並びに生活支援担当や地域活動交流担当が協力し、より効果的な事業展開を推進しました。

地域ケア会議の開催、地域福祉保健計画の推進に向けた地区推進連絡会への参加等地域包括ケアシステムの醸成を意識したニーズの発見、相談支援、社会資源の発掘・創出の好循環に繋がる包括的なネットワークづくりに努めました。

実態把握

ご相談や地域のネットワークを通して、地域の高齢者等の心身の状況や生活環境を把握し、様々な内容について総合的かつ迅速に相談・対応できる仕組みを築くよう努めました。5職種連携はもとより、関係機関との連携を通して各種制度やインフォーマルサービス等の把握に努め、情報提供を行いました。

- ア 必要に応じて、個別訪問による状況確認を行い、実態把握に努めるとともに、適切な支援を行うよう努めました。
- イ 地域に出向いて『困った時にはまず相談』をキャッチフレーズに、広報・啓発活動を実施しました。地域活動から個別相談への繋がりも視野に入れ活動しました。
- ウ ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業においては、行政、地域関係者と協力し合い75歳以上の独居高齢者の実態把握に努め、必要な支援に繋げていきました。
- エ 地域ケア会議を開催し、その機能を活かし、個別レベル、包括レベルでの実態把握に努めました。

2 権利擁護

権利擁護

総合相談などを通じ把握した要支援高齢者等が、その人らしい尊厳ある生活を維持し、安心して生活できるように専門的・継続的な視点から支援を行いました。また、各種制度や相談窓口等の周知・利用啓発のために積極的な活動を行いました。

- ア 権利擁護の観点から、成年後見制度の普及・啓発のために、説明会や個別相談会を行いました。専門的な相談窓口を身近な場所で提供する機会を設けました。
- イ 金沢区成年後見ネットワーク事業連絡会・事例検討会と、新たに市民後見人の活動支援を目的とした分科会に参加し、関係機関との連携を更に深めると共に、専門性の向上に努めました。
- ウ 地域活動交流担当とも連携しながら、様々な事業で権利擁護に関する要素を取り入れ、情報提供を行いました。
- エ 金沢区あんしんセンターと協力し、高齢者だけでなく障がいの分野として、地域の支援者を対象とした取り組みを行いました。
- オ 消費者被害防止のために、横浜市消費生活総合センターと連携をとり、支援を行いました。また随時、消費者被害に関する相談窓口の周知も行いました。
- カ 悪質商法被害のご相談が増えている現状を受け、注意喚起チラシ等を作成し、掲示板への掲示・地域への回覧・介護保険事業者への周知・事業を通じての注意喚起を行い、地域の方へ注意を促しました。関連情報の広報紙掲載等を行いました。
- キ 金沢警察署生活安全課や横浜市消費生活センターに協力を仰ぎ、消費者被害防止のための最新情報の収集や普及啓発グッズを活用する等、注意喚起の工夫に努めました。
- ク 金沢区地域包括支援センター社会福祉士部会として、地域に向けた情報発信等区域での啓発にも取り組みました。

高齢者虐待

地域住民・民生委員・ケアマネジャー・関係機関等が気軽に情報交換や相談ができる顔の見える関係を作り、虐待予防や早期発見に繋がるよう努めました。また、虐待者・被虐待者双方への支援を行いました。

- ア 介護負担等を気軽に話し合える『らく楽介護の会』の実施を継続し、介護者の支援を行いました。
- イ 虐待が疑われる場合には、関係者間で情報を共有しながら迅速な対応、支援に努めました。また、区役所とも密接な連携をとり、関係者と共に対応しました。
- ウ ケアマネジャー等の支援者に向け、虐待に関する情報提供や相談窓口の周知を行いました。
- エ 金沢区地域包括支援センター社会福祉士部会として、専門性の向上、普及啓発等について検討を行い、区域での取組を行いました。

認知症

認知症に関する個別相談支援を行うとともに、各種事業を通じて、認知症への理解や対応方法についての周知・啓発活動を行いました。

- ア 個別相談では、介護者の話を傾聴しながら、ご本人の生活をより良くするための支援方法や情報を提供しました。
- イ 地域のキャラバンメイトやボランティアなどと連携を図り、地域住民等へ出前講座や認知症サポーター養成講座等を行いました。
- ウ 金沢区はいかい SOS ネットワークの協力機関として、行方不明になった認知症高齢者の捜索に協力しました。また、ネットワークの円滑な運営に協力しました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ア 自立支援を目指し、ご本人の意欲を大切にしながら、ご自身でできることを引き出し、また継続していけるように支援しました。
- イ 生活機能低下の原因や危険性を早期に発見し、生活機能の向上のための具体的な目標を本人と共に共有しました。
- ウ 支援計画に、利用者のセルフケア、家族支援、インフォーマルサービス、介護予防事業等を意識して取り入れました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ア 民生委員とケアマネジャー、各関係機関との連携を深めていくためケアマネジャーネットワーク構築支援を開催し情報交換を行い、地域との連携を行いました。
- イ 地区民生委員児童委員協議会、町内会、老人会等に出向き、介護保険制度の説明や地域包括支援センターの役割を紹介し活用を促しました。また地域の情報を収集してケアマネジャーとの連携支援に繋げました。
- ウ 日頃より地域に出向き、地域の方々と顔を合わせ、顔の見える関係を築くことで相談しやすい状況ができるよう努めました。
- エ NPO 法人「こころの電話金沢」の定例会に出席し情報共有を行い、事業に関連する地域住民の把握やインフォーマルサービスの依頼を行い連携しました。

医療・介護の連携推進支援

- ア 医療とケアマネジャーの連携が円滑に行えるように、金沢区医師会・薬剤師会・医療関係者・ケアマネジャーと情報交換会を各組織と共催して開催し地域包括ケアを見据えたネットワーク作りを進めました。
- イ 地域の相談窓口である包括支援センターと地域の病院ソーシャルワーカーとの連携を強め、在宅に戻る際の体制づくりを円滑に行えるようにしました。
- ウ 地域ケアプラザ協力医とも連携を深め、相談対応を行いました。
- エ エリア内の医療機関との良好な関係を作り、医療と介護の連携が深まり地域支援が円滑に進むよう努めました。

ケアマネジャー支援

- ア 地域のケアマネジャーと関係機関との顔の見える関係を築けるように、情報交換や研修の場所を設けました。
- イ 近隣の包括や区内の9包括が合同によりケアマネジャーのスキルアップのため、事例検討会や研修会を開催するとともに、新任ケアマネジャーや主任ケアマネジャーに対してスキルアップにつながる情報を発信し、ケアマネジメントの質の向上につながる支援を行いました。
- ウ 地域包括ケアを見据えた支援を進めました。
- エ 支援困難事例に対しては、相談だけでなく同行訪問やカンファレンス開催支援等を行い、個々のケアマネジャー支援を行いました。
- オ 常に気軽に相談できる環境を整え、包括内でも情報収集、支援チームで動ける体制作りを行いました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

他職種の協働による地域包括支援ネットワークは、以下の活動を組み合わせ複合的に推進し行いました。

- ア 地域福祉保健計画の推進に向け、地区推進連絡会の地域支援チームの一員として区役所・区社会福祉協議会等と連携・協働し、意見交換等を行いました。
- イ 地域課題の解決に向け、地域ケア会議を開催しました。
- ウ 地域の福祉・保健に関する情報交換と地域課題の抽出、検討の場として「つながりの輪」を五職種連携により定期的に開催し地域づくりを行いました。
- エ ケアマネジャーが地域の状況を知り、有効なインフォーマルサービスをケアプランに組み入れ、住み慣れた地域での生活が長く行えるように地域と連携できる場を設け、支援しました。

介護予防事業

介護予防事業

- ア 高齢者が住み慣れた身近な地域で、介護予防を意識し具体的な取組を始めるきっかけとなる機会を提供しました。
- イ 関係機関と連携し、地域のサロン等へ積極的に出向き、地域住民の必要性に合わせた介護予防事業を行いました。
- ウ 他職種と連携し、引き続き地区診断を行いながら地域づくりに取り組みました。

生活支援体制整備事業

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

これまでの4職種連携で集積してきた地域ニーズ・資源情報をもとに、5職種が協働し地域のアウトリーチと更なる地域の分析をしました。
法人作成の地域アセスメントシートも活用しながら地域資源リスト（サービスリスト）を作成しました。

圏域レベルの協議体の設置・開催

地域ケア会議やネットワーク構築合同公開セミナー等既存の会議も活用しながら今年度新たに地域づくりの一環として始めた『つながりの輪 この指と～まれ』の話し合いを協議体として合計7回開催しました。
地域住民、民生委員・児童委員、居宅介護支援事業所、ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所等多様な主体から参加がありました。そこで、地域のニーズ・課題等、自由に地域づくりについて意見交換し、専門職以外の人々が自発的に地域づくりの担い手につながっていく方向性で話し合いを進めました。

圏域レベルの目標・取組事項の設定

地域ニーズ、課題を考える中でネットワークの構築を行う協議体を設置しそこから地域の居場所【わか】の開催と、横浜市ゴミ出し支援「ふれあい収集」のチラシを作成し地域の高齢者に配布しました。
地域の居場所【わか】は、地域から場所を提供していただき、様々なボランティアの協力を得て開催できました。地域住民による自発性に基づく活動が、本人たちの役割や出番をつくり、社会参加が介護予防の強化につながることを目標とし活動しました。普通の生活や自分のしたいことが継続的にできるよう、様々な役割を組み合わせ、地域の中に活かされていくコーディネートを行いました。

具体的な取組事項への着手

地域住民との信頼関係の構築を念頭に、5職種が連携し積極的に地域に出向き、地域住民・関連機関との関係構築に努めました。

介護予防、社会参加の充実について新規事業の構築や既存の地域事業の強化、発展も視野に定期的に5職種会議にて情報共有、効果的なアプローチについて検討し着手しました。

その他

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：横浜市泥亀地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	14,847	28,821	151						5,789
	介護保険収入				16,780	20,214	80,777	9,019	29,112	
	その他									
	介護予防ケアマネジメント費									
	指定管理料戻入	-244	-149							
	その他	517	8				709		32	27
収入合計(A)		15,120	28,680	151	16,780	20,214	81,486	9,019	29,144	5,816
支出	人件費	11,584	29,409		4,370	17,217	57,809		21,954	3,030
	事務費	2,615	2,029	143	7,929	1,806	5,329		2,014	
	事業費	757	274			24	6,048		2,232	112
	管理費	3,752	997				6,433		1,510	
	その他						338		42	237
	施設使用料相当額									
	支出合計(B)		18,708	32,709	143	12,299	19,047	75,957		27,752
収支 (A) - (B)		-3,588	-4,029	8	4,481	1,167	14,548		1,392	2,437

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載してください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康サポート教室 「かめの会」	(目的) 概ね50歳以上の人を対象に、転倒骨折予防、介護予防や健康を増進のための体操を学び、日常の体操習慣をつける。 (内容) 健康維持のためのストレッチやコンディショニング体操	年間22回 毎月 第2・4木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいきサロン 「つるの会」	(目的) 高齢者、障がい者の閉じこもりを防止し地域住民の交流を図る。ケアプラザの周知、情報提供。折り紙、手芸などのツールを使い、脳を活性化する。 (内容) 地域住民が交流を図りながら、折り紙・手芸など手先を使って、作品を作る。	年間22回 毎月 第1・3木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき会食会	(目的) 食事を通じた地域での交流の機会。 ボランティア活動の場の提供。 (内容) 主に 高齢者を対象とした手打ちうどんの会食会 (共催) おかめの会	年間11回 4月12日、5月16日、6月15日、7月6日、9月13日、10月5日、11月21日、12月13日、1月11日、2月14日、3月15日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ティーサロン 「となりのえんがわ」	(目的) 地域住民の交流を図り、高齢者の居場所づくりのためのティーサロン。 (内容) ボランティアによる手作りお菓子とお茶の歓談の時間とミニ講座（介護保険、悪徳商法について、ペタンク等）を開催し、情報提供	開催：12回 毎月第3火曜日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療講演会	<p>(目的) 地域医療機関との連携を図り、地域住民に生活習慣病予防、介護予防、健康啓発を行う。</p> <p>(内容) 医療講演会</p> <p>(講師) 景翠会 金沢病院 医師 他</p>	<p>年4回</p> <p>10月20日 11月29日 1月20日 3月10日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平潟南部 体操教室	<p>(目的) 地域の概ね60歳以上の人を対象に、転倒骨折予防、介護予防や健康を増進のための体操を学び、日常の体操習慣をつける。地域で開催し高齢者に健康の啓発、情報提供する。</p> <p>(内容) 健康維持のためのストレッチやコンディショニング体操</p> <p>(講師) 金沢スポーツクラブ 櫻井慧子氏</p> <p>(共催) 平潟町内会 平潟南部町内会</p>	<p>開催：10回 毎月第4木曜日 8月12月休み</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
乙舩・野島 体操教室	<p>(目的) 地域の概ね60歳以上の人を対象に、転倒骨折予防、介護予防や健康を増進のための体操を学び、日常の体操習慣をつける。地域で開催し高齢者に健康の啓発、情報提供する。</p> <p>(内容) 健康維持のためのストレッチやコンディショニング体操、かもめ体操、はまちゃん体操</p> <p>(講師) 金沢スポーツクラブ 森映子氏</p> <p>(共催) 野島町内会 乙舩町内会</p>	<p>年10回 毎月第2金曜日 7月8月休み</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中途障がい者 体操教室	<p>(目的) 主に脳血管障害等による中途障がい者を対象に機能回復を目的とした体操</p> <p>(内容) 機能訓練 ゲーム 交流</p> <p>(講師) 横浜市体育協会</p>	<p>年11回 毎月第4水曜日 11月休み</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい者余暇支援 「いちばん星」	(目的) 学齢期を過ぎた障がい者の余暇活動支援 家族のレスパイト (内容) カラオケなどを楽しみ、交流を深める (共催) 金沢区社会福祉協議会 晴嵐かなざわ	年11回 毎月第2水曜日 8月休み

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学齢障がい児余暇支援 「サマーフレンド」	(目的) 障がいのある学齢期の子どもが夏休みに様々な人と交流し 親と子が互いに有意義な余暇を楽しめる機会を提供する (内容) ラーメン作りと夏祭り(出店・手打ちラーメン・スイカ割り等) (共催) 金沢区社会福祉協議会 HANDS IN さる	年1回 7月26日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お母さんのしゃべり場	(目的) 子育ての悩み、不安を話すことで解消する。養育者同士の仲間作り。 情報交換・情報提供 (内容) ミニ企画 (ダンス 合唱等) 養育者同士の交流、リフレッシュ、情報交換、情報提供 (共催) 子育て支援ネット「ふきのとう」	年10回 毎月第2月曜日 (10月、1月除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
育児講座	(目的) 乳幼児の養育者を対象に、乳幼児の健全な育成のため食育や心と体の健康を保つための育児講座を開催する。 (内容) 第1回 ふれあい遊び 第2回 運動会ごっこ 第3回 食育講座 (共催) 金沢さくら保育園 子育て支援ネット「ふきのとう」	年3回 6月23日 10月18日 1月25日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こども工房 手打ちうどん作り教室	(目的) 地域の小学生の交流。ものづくりをすることにより達成感を味わう。 (内容) 手打ちうどんをつくろう	年1回 8月17日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき子育て連絡会	(目的) 顔の見える関係を構築し、子育て支援団体、当事者団体、関係機関のネットワークを拡充する。地区主任児童委員と子育て支援関係の各団体との情報提供・情報交換 (内容) 地域の子育て支援をしている主任児童委員、地域子育て支援団体、当事者団体、子育て支援に関わる関係機関、貸室登録団体とのネットワークを構築し、団体相互の活動紹介、報告を行う。また情報交換、意見交換から課題の共有や、問題解決の方向性を探る。	年1回 8月31日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい「らく楽介護の会」	(目的) 在宅で介護を行っている介護者や介護の経験のある方、また興味のある方を対象に、懇談会を中心として介護者同士の交流・情報交換等により一人で抱え込まない介護を目指す。 相談窓口の周知や介護負担の軽減を図る。 (内容) 懇談会、リラクゼーション、ミニ講座等	隔月開催 年6回 5月25日 7月25日 9月23日 11月21日 1月19日 2月22日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度講座	(目的) 地域住民に向け、成年後見制度・相続問題についての説明会を行う。説明会を行うことにより、制度の周知・利用啓発を行う。 (内容) 成年後見制度・相続問題についての説明会、個別相談会	年1回 11月15日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域で見守る支援者のための勉強会	(目的) 障がいのある方やそのご家族を見守る地域支援者を対象とする勉強会。権利擁護の視点や各種制度の理解より支援の輪を広げる。 (内容) 懇談会 勉強会	年1回 2月7日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第1回 利用調整会議	(目的) 福祉保健団体の交流 貸室利用のマナー向上 福祉保健活動の推進 (内容) 福祉保健活動等の情報提供や意見交換、活動継続等のための研修 金沢区生きがい就労支援スポットのお話	年1回 8月1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第2回 利用調整会議	(目的) 福祉保健団体の交流 貸室利用のマナー向上 福祉保健活動の推進 (内容) いきいきセンター金沢2階の備品の使い方について福祉保健活動等の情報提供や意見交換	年1回 2月1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食事サービスボランティア後方支援	(目的) 「食」を通して支えあうコミュニティーづくり 食事サービスボランティアの自主的活動を支援 (内容) 配食サービス「秋桜」の活動を支援	通年

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いきいきライブ 尚部会オンス テージ	(目的) 合唱、舞踊、演奏などを通じて地域住民の交流を深める。 (内容) 尚舞会オンステージ	年1回 6月10日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきライブ ニューイヤ ーコンサート	(目的) 合唱、舞踊、演奏などを通じて地域住民の交流を深める。 (内容) 早大グリークラブOBわいわいクラブのよるニューイヤ ーコンサート	年1回 1月23日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき工房 結んで簡単ネ ックレスづくり	(目的) 地域高齢者の交流、仲間づくりを図る。ものづくり をすることにより、達成感を味わう。 (内容) ネックレス作り	年1回 6月14日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき工房 ラベンダース ティック講座	(目的) 地域高齢者の交流、仲間づくりを図る。ものづくり をすることにより、達成感を味わう。 (内容) ラベンダースティックづくり	年1回 6月20日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いきいき工房 お正月飾りを作 りましょう！	(目的) 地域高齢者の交流、仲間づくりを図る。ものづくり をすることにより、達成感を味わう。 (内容) お正月飾りを作成	年1回 12月7日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わが町再発見 瀬戸の入海をた どり横浜市大 キャンパスへ	(目的) 地域の歴史・名所を学び、地域を再発見する 地域住民の交流を図りながらウォーキングで健康増進す る。 (内容) 金澤シティガイド協会の説明のよる金沢区の歴史、 名所を歩く。	年1回 10月19日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきセン ターまつり	(目的) 地域の方々やいきいきセンターを利用している方々 との交流を図る。ケアプラザの周知。 (内容) お囃子、転倒予防体操、ネイルアート、模擬店、バ ザー、血管年齢チェック、認知症啓発等 *全館開催 金沢区社会福祉協議会、晴嵐かなざわ、三師 会立訪問看護ステーション、福祉機器支援センターと協働	年1回 10月29日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
泥亀クリーン アップ大作戦	(目的) まちづくりの啓発 ボランティア啓発 多世代交流 青少年の健全な育成 ハマロードサポーター活動 (内容) いきいきセンター金沢内の団体(晴嵐かなざわ 金 沢区社会福祉協議会 福祉機器支援センター)と八景小学 校が連携し、地域の清掃を行う。まちづくりの啓発。 (共催) 晴嵐かなざわ 八景小学校	年2回 6月7日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネジャーネットワーク構築支援合同セミナー	<p>(目的) 安心していつまでも暮らすことができる地域であるためにさまざまな立場の支援者、住民が集まり、顔の見える関係を築く。関係強化</p> <p>(内容) 「わたしたちの町、再発見!」と題して地図上からみえてくるものを確認し、新たな発見を促し地域課題等を再確認する。</p>	<p>年1回</p> <p>2月13日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー連携支援「語らいのひととき」	<p>(目的) 地域のケアマネジャーの業務支援のため、地域の医療関係者との身近な関係を構築し、気軽に集える場を設け、業務に活かせるよう支援する。</p> <p>(内容) 毎回違った医療関係者の方をお招きし、地域のケアマネジャーに気軽に話をする機会を設け、質問など意見交換を行う。</p>	<p>年4回</p> <p>5月25日 8月25日 12月1日 2月27日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児者余暇支援事業「手打ちうどんをつくろう」	<p>(目的) 障害児者が様々な人と共有な体験を通して交流することができる</p> <p>(内容) ボランティアと協力してうどんを作り、味わう。その後ゲームなどで楽しむ</p>	<p>年1回</p> <p>8月27日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性の料理教室	<p>(目的) 中高年の男性の地域活動や仲間づくりのきっかけ</p> <p>(内容) 簡単で栄養のバランスを考えた食事作り</p>	<p>4回</p> <p>7月20日 9月27日 11月29日 1月24日</p>

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	(目的) ボランティアのきっかけ、ボランティア活動の紹介等 (内容) 介護支援ボランティア登録研修会、質疑応答	1回 6月21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン支援者交流会	(目的) 地域でサロンを運営している支援者を対象に情報交換や交流の機会を提供 (内容) 情報交換、意見交換 サロンに役立つレクリエーション 知って得する高齢者の嚙下と聞こえ スリーAフォローアップ講座・交流会	年3回 11月7日 11月22日 12月2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
怒鳴らない子育て講座 (4回コース)	(目的) 子育ての不安や悩みを持っている養育者に子どもにとって分かりやすいコミュニケーションの取り方などを知る機会を提供 (内容) わかりやすいコミュニケーションやしつけのヒントを具体的に学ぶ	年4回 7月7日、21日 8月4日、18日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3歳からの子育て応援講座 (3回コース)	(目的) 子育ての不安や悩みを持っている養育者に子どもにとって分かりやすいコミュニケーションの取り方などを知る機会を提供 (内容) わかりやすいコミュニケーションやしつけのヒントを具体的に学ぶ。	年3回 3月2日 3月16日 3月23日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
怒鳴らない 子育て講座 (思春期)	(目的) 思春期の子どもを養育者にコミュニケーションや対応について知る機会を提供 (内容) わかりやすいコミュニケーションのヒント等を具体的に学ぶ	年1回 11月1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つながりの輪 「この指と～まれ」	(目的) 民生委員・児童委員や地域のケアマネジャー、地域の事業所などの連携を深め、地域でできることを考え、情報交換会や意見交換を行い、地域の支援づくりのきっかけをつくる。 (内容) 地域での取り組みや活動に向けての情報交換、意見交換、実施に向けての基礎作り	年8回 4月20日 6月1日 7月1日 8月3日 9月2日 10月4日 11月1日 3月3日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢南部地区 こどもフェスティバル	(目的) 乳幼児及び養育者対象の子育て支援事業関係機関との連携強化 (内容) 金沢南部地区こどもフェスティバルでバルーンアートを担当	年1回 5月28日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こども工作教室	(目的) ものづくりを通じた小学生の交流の場の提供 ケアプラザを知るきっかけとなる。 (内容) こども達が木材を選び、DIYアドバイザーの協力を得て作品を製作する。	年1回 7月4日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
怒鳴らない子育て講座 フォローアップ	(目的) こどもにとって分かりやすいコミュニケーションの取り方やしつけについて学ぶ。養育者の交流 (内容) 「怒鳴らない子育て講座」を平成28年3月に実施、その参加者に対するフォローアップ講座	年1回 6月2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
怒鳴らない子育て講座 フォローアップ (六浦共催)	(目的) 子育ての不安や悩みを持つ養育者がこどもにとって分かりやすいコミュニケーションの取り方について具体的に学び、子育てが楽に、楽しく感じられるようになる。養育者の交流 (内容) 実践的な4回コース後のフォローアップ講座 実践してみてもうまくいったことやうまくいかなかったことを共有し、参加者同士の意見交換や講師からのアドバイスを受け、悩みや成果を共有	年1回 9月6日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コーヒーdeボランティア講座	(目的) 講座を通じて、地域の中で仲間を作り、ボランティア活動、地域活動に発展していく (内容) 4回コースでコーヒーの淹れ方を学び、ボランティアの経験談を聞いたり、ボランティア体験をしていく	年4回 9月28日 10月4日 10月14日 10月18日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
臨時利用調整会議	(目的) ケアプラザ及び金沢区福祉保健活動拠点を利用する貸室利用団体を対象に利用に仕方の変更点などを周知する。 (内容) ケアプラザ施設利用マニュアルの改定に伴い、貸室の取り扱いを変更したため利用団体に説明	年3回 3月1日 3月7日 3月14日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いきいきキッチンcaféカレーランチ	(目的) 男性料理の「いきいきキッチン」のメンバーの活躍、地域の方々との交流の機会 (内容) 年1回の恒例で、男性料理「いきいきキッチン」のメンバーがカレーを作って地域の方々に提供する。	年1回 2月9日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域の居場所【わっか】	(目的) 地域の人が集える居場所をつくる。 (内容) 洲崎の龍華寺をお借りし、地域住民同士・ボランティアが交流をし、有意義な時間を持つ。	年4回 11月29日 1月31日 2月28日 3月28日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
洲崎晴嵐会健康サポート教室	(目的) 転倒骨折予防、介護予防や健康増進のための体操を学び、日常の体操習慣をつける。地域で開催し高齢者に健康の啓発、情報提供する。 (内容) 体操、健康情報や介護予防に関するミニ講座 (講師) 金沢スポーツクラブ 渡邊 純子氏 (共催) 洲崎町内会	開催：8回 毎月第2木曜日 7月13日 8月10日休み

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
平成28年度金沢南部地区社会福祉協議会第2部鶴亀座「認知症を正しく知ろう」	(目的) 金沢南部地区社会福祉協議会との連携を深めるため、総会後に介護保険や福祉に関する講座を実施。ケアプラザや地域包括支援センターの周知 (内容) 認知症に対する理解を深めるため、寸劇を通して対応などを考えていただく。	年1回 5月14日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症理解啓発・出前講座 サロンみなみ 「認知症について」	(目的) 認知症についての理解を深める。ケアプラザ、地域包括支援センターの周知、地域の関係者との連携強化 (内容) 認知症についてわかりやすく解説。具体事例を挙げながら、身近なこととして理解を深めていただく。	年1回 6月11日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢文庫公団自治会「おしゃべり会」	(目的) 介護予防、閉じこもり予防。 地域関係者との連携強化、ケアプラザ機能の周知 (内容) 季節に応じた講和などを行い、健康や生活上のし注意を促すとともに、地域包括支援センターやケアプラザの事業の案内、軽い運動やゲーム、歌、おしゃべりを楽しむ	年4回 6月16日 9月15日 12月15日 3月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 太陽生命湘南支社	(目的) 太陽生命保険会社湘南支社職員に対し、認知症について理解し、業務に活かすことができるようにする。 地域包括支援センターの役割を伝える。 (内容) 認知症に方への理解を深め、正しい対処法を学ぶ講義、DVD視聴、事例紹介	年1回 6月24日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
柴町内会サロン	(目的) 介護保険の理解や介護予防の普及。 ケアプラザや地域包括支援センターの役割や機能の周知 地域支援者との連携強化 (内容) 介護保険制度についての講和及び質疑応答	年1回 7月6日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニアのための着こなし講座	(目的) 地域住民の交流、ケアプラザの周知。 地域貢献する企業と協働することで、企業や若い世代に高齢者や地域に理解が広まる。 (内容) 参加者からモデルを募って、ファッションショー、着こなしについてのアドバイスなど	年1回 7月28日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者の食事と栄養	(目的) 講座を通じて、高齢者が必要な栄養について、考えてもらう (内容) 高齢者にとって、介護予防のために栄養をとる必要性、免疫力をあげるための食事、体操についての講義と質疑応答	年1回 9月28日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大広間健康生活座談会 「地域包括支援センターとは」	(目的) ケアプラザ、地域包括支援センターの機能や役割の周知。介護予防に普及啓発 (内容) 老人福祉センター晴嵐かなざわ利用者を対象に地域包括支援センターの機能や役割について説明、自主事業の案内や健康講話、体操。	年1回 12月19日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
金沢区「街の先生」・登録団体によるミニ体験講座 「年賀状を筆ペンで書いてみましょう！」	(目的) 金沢区「街の先生」・登録団体の紹介や理解につなげる。 (内容) 金沢区「街の先生」の指導で年賀状を筆ペンで作成	年1回 11月14日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
金沢区「街の先生」・登録団体によるミニ体験講座 「踊って元気『盆踊りとふるさとの民踊』」	(目的) 金沢区「街の先生」・登録団体の紹介や理解につなげる。 (内容) 金沢区「街の先生」の指導で盆踊りや民踊をおどる。	年1回 11月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
谷津町お楽しみ会	(目的) ケアプラザの周知、関係作り (内容) 金沢消防署より、救急事例、#7119について情報提供、脳活性化リハビリゲームによる交流、ケアプラザの周知	年1回 10月22日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン・健康講座	(目的) 健康維持、増進、介護予防等の普及併発 ケアプラザ、地域包括支援センターの役割、機能の周知 地域関係者との連携強化 (内容) 健康講座「認知症について」 ペタンクの体験	年1回 11月25日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第3回 認知症勉強会	(目的) 介護保険、認知症についての理解を深める。 ケアプラザ、地域包括支援センターの周知、地域住民との 連携・課題発掘 (内容) 介護保険についての講義、認知症についての講義、 スリーA	年1回 10月23日

平成28年度 自主事業報告書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て虎の巻 「空を見上げて 風を感じて」	(目的) 乳幼児の健全な育成、育児負担の軽減 (内容) 隣接の金沢さくら保育園の協力で日頃から培っているものを伝授する機会として外遊びの楽しさを知ってもらう。	年1回 11月5日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 「はすの実学童クラブ」	(目的) 認知症を理解の促し、地域での見守りを行えるようにする。地域包括支援センターの役割の周知 (内容) 認知症の方への理解を深め、正しい対処法を学ぶ講義、紙芝居、質疑応答	年1回 3月29日

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
健康サポート教室 「かめの会」	おおむね50歳以上の人	136,910	110	136,800	66,154	0	70,756
	684名						
	200円						
脳いきいきサロン 「つるの会」	高齢者	60,203	903	59,300	0	30,892	29,311
	593名						
	100円						
いきいき会食会	地域住民	125,388	1,188	124,200	0	102,878	22,510
	414名						
	300円						
ティーサロン 「となりのえんがわ」	高齢者	26,418	10,418	16,000	3,341	15,877	7,200
	160名						
	100円						
医療講演会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	87名						
	無料						
平潟南部体操教室	高齢者	6,000	6,000	0	0	0	6,000
	116名						
	300円(各回)						
乙舩・野島体操教室	高齢者	0	0	0	0	0	0
	115名						
	300円(各回)						
洲崎サポート教室	高齢者	0	0	0	0	0	0
	92名						
	200円(各回)						
中途障がい者体操教室	中途障がい者・介護者	28,600	18,400	10,200	22,000	0	6,600
	102名						
	100円						
障がい者余暇支援 「いちばん星」	知的障がい者・精神障がい者	20,285	485	19,800	0	13,685	6,600
	157名						
	100円(9回)200円(3回)						
学齢障がい児余暇支援 「サマーフレンド」	学齢障がい児	29,705	23,705	6,000	0	26,322	3,383
	6名						
	1000円						
お母さんのしゃべり場	乳幼児養育者	18,076	1,776	16,300	5,568	1,400	11,108
	163組						
	100円						
育児講座	乳幼児の養育者	5,217	5,217	0	0	5,217	0
	80名						
	無料						
こども工房 手打ちうどんづくり教室	小学生	8,019	6,619	1,400	0	7,179	840
	14名						
	100円						
いきいき子育て連絡会	乳幼児養育者・子育て関係機関	0	0	0	0	0	0
	32名						
	無料						

平成28年度 自主事業収支報告書

介護者のつどい 「らく楽介護の会」	介護者・高齢者						
	20名	0	0	0	0	0	0
	無料						
成年後見制度講座	地域住民						
	8名	0	0	0	0	0	0
	無料						
地域で見守る 支援者のための勉強会 生活困窮者支援制度について	地域住民						
	8名	0	0	0	0	0	0
	無料						
第1回 利用調整会議	貸室利用団体						
	42名	16,434	16,434	0	0	0	16,434
	無料						
第2回 利用調整会議	貸室利用団体						
	37名	0	0	0	0	0	0
	無料						
食事サービスボランティア 後方支援	地域住民						
	768名	0	0	0	0	0	0
	無料						
いきいきライブ 尚舞会オンステージ	地域住民						
	102名	3,000	3,000	0	0	0	3,000
	無料						
いきいきライブ ニューイヤーコンサート	地域住民						
	70名	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	無料						
いきいき工房 結んで簡単ネックレスづくり	地域住民						
	18名	9,000	0	9,000	0	9,000	0
	500円						
いきいき工房 ラベンダースティック講座	地域住民						
	28名	8,400	0	8,400	0	8,400	0
	300円						
いきいき工房 お正月飾りを作りましたよ！	地域住民						
	15名	28,068	5,568	22,500	5,568	22,500	0
	1500円						
わが町再発見 瀬戸の入海をたどり 横浜市大キャンパスへ	地域住民						
	7名	6,560	4,460	2,100	0	0	6,560
	300円						
第18回 いきいきセンターまつり	地域住民						
	727名	59,319	20,269	39,050	0	28,897	30,422
	無料						
泥亀クリーンアップ大作戦	地域住民・小学生						
	80名	0	0	0	0	0	0
	無料						
ケアマネジャーネットワーク 構築支援合同セミナー	地域住民						
	53名	49,200	49,200	0	30,000	0	19,200
	無料						
ケアマネジャー連携支援 「語らいのひととき」	区内ケアマネジャー						
	49名	3,939	3,939	0	0	0	3,939
	無料						

平成28年度 自主事業収支報告書

障がい児者余暇支援事業 手打ちうどんをつくろう	障がい児者	7,488	5,888	1,600	0	6,928	560
	8名						
	200円						
男性の料理教室	概ね60歳以上の男性	29,715	9,215	20,500	0	27,475	2,240
	41名						
	500円						
よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	65歳以上の市民	0	0	0	0	0	0
	40名						
	無料						
サロン支援者交流会	サロン支援者	0	0	0	0	0	0
	81名						
	無料						
怒鳴らない子育て講座 (4回コース)	養育者	12,000	12,000	0	12,000	0	0
	24名						
	無料						
3歳からの子育て応援講座 (3回コース)	養育者	4,800	4,800	0	0	0	4,800
	21名						
	無料						
怒鳴らない子育て講座 (思春期)	地域住民	8,000	8,000	0	8,000	0	0
	13名						
	無料						
つながりの輪 この指と〜まれ	民生委員・ケアマネ他	11,766	11,766	0	0	5,815	5,951
	219名						
	無料						
金沢南部地区 こどもフェスティバル	乳幼児・養育者	5,516	5,516	0	0	3,516	2,000
	312名						
	無料						
こども工作教室	小学生	3,692	3,692	0	0	0	3,692
	18名						
	無料						
怒鳴らない子育て講座 フォローアップ	養育者	0	0	0	0	0	0
	5名						
	無料						
怒鳴らない子育て講座 フォローアップ(六浦共催)	養育者	2,500	2,500	0	2,500	0	0
	9名						
	無料						
コーヒーdeボランティア講座	地域住民	38,606	16,606	22,000	0	26,172	12,434
	78名						
	1000円						
臨時利用調整会議	貸室利用団体	16,024	16,024	0	0	0	16,024
	80名						
	無料						
いきいきキッチンcafé カレーランチ	地域住民	9,809	209	9,600	0	8,689	1,120
	32名						
	300円						
わか	地域住民	66,552	40,052	26,500	0	60,952	5,600
	278名						
	無料						
州崎晴嵐会 健康サポート教室	高齢者	0	0	0	0	0	0
	92名						
	無料						

平成28年度 自主事業収支報告書

平成28年度金沢南部地区 社会福祉協議会総会第2部 烏龜座「認知症を正しく知ろう」	地域住民						
	43名	0	0	0	0	0	0
	無料						
認知症理解普及啓発・ 出前講座 サロンみなみ 「認知症について」	地域住民						
	23名	0	0	0	0	0	0
	無料						
金沢文庫公団自治会 「おしゃべり会」	高齢者						
	69名	0	0	0	0	0	0
	無料						
認知症サポーター養成講座 太陽生命湘南支社	職員						
	31人	0	0	0	0	0	0
	無料						
柴町内会サロン	高齢者						
	17名	0	0	0	0	0	0
	無料						
シニアのための 着こなし講座	高齢者						
	27名	0	0	0	0	0	0
	無料						
高齢者の食事と栄養	高齢者						
	12名	0	0	0	0	0	0
	無料						
大広間健康生活座談会 「地域包括支援センターとは」	高齢者						
	14名	0	0	0	0	0	0
	無料						
金沢区「街の先生」・登録団体 によるミニ体験講座「年賀状を 筆ペンで書いてみましょう！」	地域住民	会計は共催先					
	12名	0	0	0	0	0	0
	300円						
金沢区「街の先生」・登録団体 によるミニ体験講座「踊って元気 『盆踊りとふるさとの民踊』」	地域住民						
	7名	0	0	0	0	0	0
	無料						
谷津町お楽しみ会	高齢者						
	28名	0	0	0	0	0	0
	無料						
サロン・健康講座	高齢者						
	30名	0	0	0	0	0	0
	無料						
第3回 認知症勉強会	高齢者						
	26名	0	0	0	0	0	0
	無料						
子育て虎の巻 「空を見上げて風を感じて」	乳幼児・養育者						
	14名	0	0	0	0	0	0
	無料						
認知症サポーター養成協座 「はすの実学童クラブ」	小学生						
	47名	0	0	0	0	0	0
	無料						
		870,209	318,959	551,250	155,131	411,794	303,284

事業ごとに別紙に記載してください。